



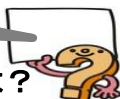
健康だより

MERS～中東呼吸器症候群～

今年5月、中東地域を訪問の後に韓国へ帰国した男性より、MERSコロナウイルス感染が確認されました。その後、韓国内で感染が拡大し、死亡例も報告されています。現時点では、季節性インフルエンザのように、一気に感染が広がることはないと言われていますが、今後の情報にご注意ください。

MERS Q&A

・MERS(中東呼吸器症候群)とは？



詳細は厚生労働省HP参照：

http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/mers_qa.html

MERSコロナウイルスによって起こる感染症で、2012年に初めて確認されました。主に、中東地域*で患者が報告されています。このほか、ヨーロッパ、アフリカ、アジア及び北米大陸からも患者の報告がありますが、これらは全て、中東地域への渡航歴のある人若しくはその接触者であることが分かっています。

*アラブ首長国連邦、イエメン、イラン、オマーン、カタール、クウェート、サウジアラビア、ヨルダン、レバノン(2015.6.5時点)

・MERSの感染経路は？

人がどのようにしてMERSに感染するかは、まだ正確には分かっていません。患者から分離されたMERSコロナウイルスと同じウイルスが、中東のヒトコブラクダから分離されていることなどから、ヒトコブラクダがMERSウイルスの保有動物であるとされており、感染源の一つとして疑われています。日本国内のヒトコブラクダを調査した限りではMERSコロナウイルスを保有している個体は確認されていません。一方、患者の中には動物との接触歴がない人も多く含まれており、家族間や、患者－医療従事者間など、濃厚接触者間での感染も報告されています。主に、咳やくしゃみなどによる**飛沫感染**または**接触感染**による感染であると考えられています。

・MERSにかかると出現する症状は？

主な症状は、**発熱、咳、息切れ**などです。下痢などの消化器症状を伴う場合もあります。MERSに感染しても、症状が現れない人や軽症の人もありますが、特に高齢の方や糖尿病、慢性肺疾患、免疫不全などの基礎疾患のある人では重症化する傾向があります。

・MERSに対する予防方法、治療は？

MERSの発生が報告されている地域においては、咳やくしゃみなどの症状がある人との接触を避け、また動物(ラクダを含む)との接触は可能な限り避けることが重要です。また現在、MERSに対するワクチンや特異的な治療法はありません。患者の症状に応じた治療(対症療法)になります。

次の1・2の要件全てに該当する方は、MERS感染を疑う必要があります！

1. 過去14日以内に韓国又はアラビア半島若しくは周辺諸国へ渡航又は滞在歴がある。
2. 発熱や咳などの呼吸器症状があり、体調不良である。

該当する場合は、自宅待機し、長崎大学保健・医療推進センターへ電話にてご連絡下さい。長崎大学保健・医療推進センター 095-819-2213(内線:2213)

なお、息苦しい、動けないなど症状が強い場合は、長崎大学病院へ電話にてご連絡下さい。長崎大学病院 受付 095-819-7210

センター、病院へ直接出向いてはいけません。
必ず、電話をして指示を受けて下さい。

